

第7戦ハイランドスーパー耐久参戦レポート

「眠眠打破 ings ランサー」ノントラブルで表彰台をゲット

残り2戦となったスーパー耐久シリーズ。第7戦が10月11日(日)、仙台ハイランドレースウェイ(宮城県ノ1周4,063m)で行われた。予選3位スタートの「眠眠打破 ings ランサー」(#56 服部尚貴ノ松本達哉)は、序盤は5位と出遅れたが、中盤より終始安定したタイムで順位を上げ、2位でチェッカーを受けた。

10月10日(土) 専有走行ノ公式車検

専有走行

今大会は25台の参加の中、ST-2クラスはシリーズ参戦のランサー6台のみがエントリー。心配されていた台風も去りすっきりとした秋空の下、9時から3回の専有走行枠が設けられた。

ラリーアート・ピット京都はハイランド初参戦のため、専有走行に先立ち、前日のスポーツ走行枠を使ってマシン、ドライバーとも慣熟走行を済ませた。このハイランドのコースは路面が悪くタイヤがグリップしないことを踏まえ、1回目の走行ではフロントタイヤを持つように走るセッティングに専念。セッティングが決まり、2回目のセッションでは予選シミュレーションを行った。そして3回目の走行では決勝用のチェックと、ルーティンもひとつおこなした。「眠眠打破 ings ランサー」の本日のベストタイムは3回目のセッションで松本の出した1"55.701で3番手。トップ、2番手に1秒の遅れをとったものの、トータル58周をノントラブルで好調に走り終え、万全の状態明日の予選、決勝に臨む。



10月11日(日) 予選ノ決勝 天候:曇リ/晴れ

公式予選 (8:40~9:45 / 10:15~10:30)



ワンデーでの開催のため、早朝8時40分より予選が開始された。予想外の雨が降り、直前でやんだもののウェット宣言が出され、Aドライバーのセッションがスタートした。服部尚貴はウェットタイヤでコースオープンとともにコースイン。4周目に2"03.459をたたき出し2番手についた。続いてBドライバーのセッションが10分遅れでスタート。すっかり雨も上がり晴れ間さえ見えていたが、コースは未だウェット気味。松本達哉は1ラップをウェットタイヤで走り、すぐにスリックタイヤに変更。タイムアタックを試みたが、ベストタイムは1ラップ目の2"04.626で

3番手。合算タイムは4"08.085で#6新菱オート DIXCEL EVO、#3ENDLESS ADVAN CSノに続き、「眠眠打破 ings ランサー」は3番グリッドを確保した。

決勝 99Lap (12:38 スタート)

気温16、曇り空のもと、決勝の火蓋が切られた。「眠眠打破 ings ランサー」はクラス3番手、6番グリッドからのスタート。スタートドライバーは前回の岡山戦に続き松本達哉。アウト側からのスタートだったが、行き場を失い、ポジションをひとつ落とした。序盤は58秒台とペースが上がらず、5番手までポジションを下げる。その後2台を抜き、29ラップ目には、3位に浮上。トップを走行していた#6新菱オート DIXCEL EVO



がマシントラブルにより戦線離脱したため、2位にポジションアップとなった。その後も「眠眠打破 ings ランサー」は、ノントラブルで 57 秒台の安定したタイムで走行の後方のマシンとの差を徐々に広げた。そして 45 周目に服部尚貴にドライバー交替した。ピット作業も難なくこなし、続く服部も、57 秒のタイムをキープし、更に 3 位以下とのマージンを広げ、2 位を堅守。90 周目、先に 2 回のピットインを済ませた #3 とのタイム差は 50 秒。予定通りの周回でのピットインで松本にチェンジし、コースに復帰するとトップ #3 ENDLESS ADVAN CS との差は 7 秒。残り 9 周、松本は、56 秒台をたたき出し猛チャージで追撃する。しかし視界にとらえるまでに迫ったものの、4.014 秒差で 2 位でチェッカーフラッグを受けた。ノントラブルで走り切り、4 戦ぶりの表彰台となった。



### ドライバーのコメント

#### 服部尚貴

今回は作戦通りのレース運びができました。ただエンジンをいたわることが優先でパワー不足だったことが若干しんどかったです。優勝できなかったことは残念でしたが、今年一番のいいレースだったと思います。最終戦のもてぎでも満足のできる結果を出すように頑張ります。

#### 松本達哉

やっとトラブルなく完走できました。まずはほっとしています。レース展開としては3号車が速かったですが、チームの迅速なピットワーク、タイヤにやさしい車のおかげで 2 位を取ることができました。次回はオーバルコースのもてぎですが、この調子を維持して優勝目指しますので応援宜しくお願いします。



### RACE RESULT

Pos	No.	Car	Driver	Team	Lap	Time	
1	3	ENDLESS ADVAN CS	峰尾/村田	ENDLESS SPORTS	99	3:16'53.994	
2	56	眠眠打破 ings ランサー	服部/松本	ラリーアート・ピット京都	99	3:16'58.008	
3	30	サムライゼーション 森永チルミル RS オガワランサー	小林/花岡	いとうレディースケアクリニック	98	3:16'37.744	
4	20	RS オガワワークス ADVAN ランサー	谷口/山田	RS オガワ	98	3:16'40.218	
5	26	エンドレスアドバンエッズランサー	朝倉/大橋/古山	ターマック・ブレイシングチーム	91	3:18'35.523	
6	6	新菱オート DIXCEL EVO	富樫/関	シンリョウレーシング	80	3:16'21.199	
		以上規定周回数完走					

### POINT RANKING

Pos	No.	Team	Driver	Machine	Total	1	2	3	5	6	7	8
1	3	ENDLESS SPORTS	峰尾組	CZ4A	89	15	12	21	16	1	24	
2	20	RS オガワ	坂口組	CT9A	79	24	0	15	20	20		
3	26	ターマック・ブレイシングチーム	朝倉組	CT9A	60	12	6	12	8	12	10	
4	56	ラリーアート・ピット京都	服部/松本	CT9A	45	0	15	8	4	0	18	
5	30	いとうレディースケアクリニック	伊藤組	CT9A	45		10		10	10	15	
6	6	シンリョウレーシング	富樫組	CT9A	42			6	12	15	9	
7	11	TEST AND SERVICE	佐々木組	CZ4A	34	9	21	4				
8	37	B.I-SEQUENTIAL	筒井組	CT9A	32	18	4	10				
9	59	東和インテックレーシング	大澤組	GRB	24	10	8		6			
10	20	RS オガワ	谷口組	CT9A	12						12	
11	602	パームタウン	平橋組	CT9A	8					8		

Photos by Hattri Planning inc.  
Report by RALLIART PIT KYOTO

